



3 上富良野町 ビーバーファーム北川
有機栽培米100%の
どぶろくを味わってください。

上富良野町は、「どぶろく特区」の認定を受け、農家が自ら生産したお米でどぶろくを製造できるようになりました。目の前に十勝岳連峰を望む「ビーバーファーム北川」は、メロンと有機JASのお米を栽培する農家。北川さんは、自社の有機栽培米を使って、「どぶろく「大地を醸す」を1本1本

ていねいに手づくりしています。十勝連峰のイラストと力強い字は息子さん、ラベルのデザインは娘さんと、家族の思いも込めた1本は、「甘さと酸味のバランスが良い」と大好評！富良野地域のみ販売の逸品なので、紅葉ドライブの際はぜひお立ち寄りください。

住所 〒071-0525 空知郡上富良野町東5線北16号
TEL 0167-45-5843
FAX 0167-45-5843
e-mail f.beaver.f@gmail.com

●体験内容/直売(どぶろく・メロン・米)交流施設休憩など



4 当別町 フレンドリーファーム
そば打ちに、とうふ作り。
農家のワザを体験できます。

JR石狩太美駅から北に約2km、道道81号線沿いにある「フレンドリーファーム」。オーナーの佐藤さんは、農業・農村の良さを多くの人に知って欲しいという思いから、国内外を問わず、通年で体験希望者を受け入れています。農作物の植付けから収穫、そば打ちやとうふの加工など、体験メニューも多彩。

さらに、春から秋には、佐藤さんお手製の石窯による「窯焼きピザ」の加工体験もあり、焼きたてのピザを存分に味わうことができます。“実践力”を大切にしている佐藤さんのファームで、農業・農村の魅力を実感してみませんか。

住所 〒061-0211 石狩郡当別町獅子内1281-9
TEL 0133-26-2004
FAX 0133-26-2004

●体験内容/農作業、そば打ち、とうふ作り、ピザ作り(10名まで、農作業とピザ作りは期間限定) 宿泊(10名まで) ※要予約



5 えりも町
えりも短角王国 高橋ファーム
えりもの海を見て育った、
短角牛が待っています。

えりも岬から2kmほど、見晴らしのよい丘にある高橋ファームでは、旧南部藩(岩手県)で飼われていた南部牛に由来する「短角牛」を飼育。牛たちは、広大な牧草地で、海のミネラルをたっぷり含んだ草を食べながら暮らしています。その肉はヘルシーで滋味豊かな赤身肉、霜降り肉の和牛とはひと味ちがうおい

しさを。ファームイン「守人〜まぶりつと」を併設し、宿泊のお客様には、自慢の短角牛メニューのほか、真ツヤやコンプなど日高の海の幸も提供します。白い風車、青い海を望むえりも岬の牧場で、おいしい時間をすごしてみませんか。

住所 〒058-0342 幌泉郡えりも町 えりも岬406-1
TEL 01466-3-1129
FAX 01466-3-1129 ※17時以降のFAXは 01466-3-1642

e-mail hiroat@isis.ocn.ne.jp
●体験内容/短角牛の直売・焼肉・焼肉 宿泊
http://www.erimotankaku.jp/



たにまの登録農家
951農場
※2016年1月現在

ふれあいファーム

へいこう! 農業王国 北海道。農村へ出かけて、農業にふれてみませんか?



●ふれあいファームとは
北海道では、農作業体験など農業・農村とふれあう機会を多くの方々に提供する農場を「ふれあいファーム」として登録しています。

●情報ははこちらから <http://www.pref.hokkaido.lg.jp/ns/ski/hureaifarm/hureai-top.htm>

●ふれあいファーム訪問時のお願い
農園は農家の仕事の間であり、農作業がかなり忙しい時期もあります。事前の連絡・確認をお願いします。

- 1 根室市 明郷 伊藤☆牧場
- 2 標茶町 ポロニ養鶏場
- 3 上富良野町 ビーバーファーム北川
- 4 当別町 フレンドリーファーム
- 5 えりも町 えりも短角王国 高橋ファーム



1 根室市 明郷 伊藤☆牧場
牧場ならではの味と、
都会にはない時間があります。

JR厚床駅から北に約2km、国道243号沿いにある「明郷 伊藤☆牧場」。根釧台地の雄大な風景の中、都会にはない時の流れを感じることができます。レストラン「ATTOKO(あっとこ)」では、新鮮な生乳を使ったソフトクリームや牧場育ちの明郷短角牛のサイコロステーキなど、牧場ならではの食事を満喫。

また、酪農家の仕事をまるごと体験できる酪農家体験やフットパス、サイクリング、キャンプなど、「食につながるグリーン・ツーリズム」のメニューが豊富に楽しめます。非日常的な空間に、心身まるごとタイプするような休日はいかがですか?

住所 〒086-0061 根室市明郷101番地
TEL 0153-26-2181
FAX 0153-26-2141
e-mail gyuu@iris.ocn.ne.jp

●体験内容/酪農体験、牧場見学、フットパス、レストラン ※酪農体験は事前にメール等でご予約ください。
<http://www.nemuro-footpath.com/gyuu/>



2 標茶町 ポロニ養鶏場
健康な有機卵と、
特製スイーツが自慢です。

JR標茶駅から小道を15分ほど進んだ酪農地帯にある「ポロニ養鶏場」。1994年に、夫婦二人で始めた小さな養鶏場です。親鶏たちは、道産小麦中心の完全自家配合の飼料を食べ、鶏舎の中を自由に走り回っています。健康な親鶏が産んだ有精卵は、黄身は食べた飼料がわかる「やさしいレモン色」、白身は

キメ細かく、ケーキの材料に最適です。釧路管内のイベントでは、シフォンケーキやプリンなど、ポロニ特製スイーツが好評です。事前の連絡があれば有精卵とスイーツの直売もOK。別次元の「たまごかけご飯」をぜひ味わってみてください。

住所 〒088-2331 川上郡標茶町 オソツベツ669-11
TEL 015-485-3702
FAX 015-485-3702
e-mail heartfield-pononis@docomo.ne.jp

●体験内容/直売(卵・シフォンケーキ・プリン) ※事前に電話連絡をお願いします。
<http://www.shibechea.com/pononi/>



CONFA VOICE 編集部から

生産者の強い思いが「十勝若牛」のブランド化につながりました。これからの活動もぜひご注目ください。

CONFA VOICE 読者の声

2016年春号へのお便りから
吉田牧場さんの言葉に「五感をフル稼働させて、我が子を育てると同じ気持ちで接する」とあり、いかに愛情が大切かを物語っており、嬉しさをいただきました。(女性・59歳 滝川市)



INFORMATION 北海道からのお知らせ

「ホッカイドウ競馬」は年中楽しめます!

「ホッカイドウ競馬」では、11月10日(木)までの火・水・木曜日に、日・月・門別競馬場でグランシャリオナイターを開催しています。道営の開催終了後も引き続き、道営出身馬が多く活躍する平日の地方競馬や土日のJRAを以下の場外発売所「Aiba(アイバ)」で発売します。ぜひ、ご利用ください。



発売場所 門別競馬場、Aiba函館港町、Aiba登別室蘭、Aiba苫小牧、Aiba静内、Aiba浦河、Aiba千歳、Aiba札幌中央、Aiba石狩、Aiba小樽、Aiba江別、ハロンス岩見沢、Aiba滝川、旭川レシંગセンター、Aibaくしろ、Aiba中標津

出走馬の詳細やレース展望などについては、「ホッカイドウ競馬オフィシャルウェブサイト」から、「がんばれ!ホッカイドウ競馬」にリンクしてご覧ください。
<http://www.hokkaidokeiba.net/>

お問い合わせ 農政部競馬事業室 TEL 011-204-5377
各総合振興局・振興局農務課
または(一社)北海道軽種馬振興公社
TEL 01456-2-2501まで

優良な食育活動を表彰します。表彰式・講演会にご参加ください。

道では、食育の活動を積極的に行っている団体等の功績を称え、その活動を紹介することによって、道民の方の食育に対する関心を高めることなどを目的に表彰を実施しています。このたび、28年度の表彰式及び有識者や受賞者による講演会を開催します。参加ご希望の方は、下記のURLから申込用紙をダウンロードして、必要事項を記入の上、FAX等でお送りください。多くの皆様のご参加をお待ちしています。



北海道食育推進優良活動表彰
■とき/平成28年12月16日(金) ■ところ/道庁赤れんが庁舎2階2号会議室
14:00~16:00 (札幌市中央区北3条西6丁目)

表彰式の詳細、申込用紙はこちらから
<http://www.pref.hokkaido.lg.jp/ns/shs/data/index.htm>
または [どさんこ食育](#) 検索

お問い合わせ 農政部食品政策課食品企画グループ
TEL 011-204-5427

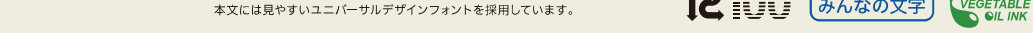
次号の「コンファ春号」を無料でお届けします。

〒060-8588 北海道農政部農政課政策調整グループ(住所の記入不要)
TEL 011-231-4111(内線27-126) FAX 011-232-4126 Eメール nosei.noki2@pref.hokkaido.lg.jp



編集後記
今号の特集も「連携」がキーワードです。前号は農業と福祉の「農商連携」でしたが、今号は農業者と製菓店の「農商連携」です。農業や漁業、商工業などといった「業」の垣根が少しずつ低くなり、Win-Winの良好な連携が進むよう北海道も全庁的に取り組んでいます。新しく「農業高校」を紹介しました。従前は男子が多いイメージでしたが、最近は、女子も志を持って入学し、栽培や加工など興味のある分野を意欲的に学んでいます。若者の学びの「成果」を発表する機会が全国各地にあります。是非、ご覧ください。

この印刷物は環境に優しい植物性インキと古紙配合率100%再生紙を使用しています。本文には見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。



おいしく食べて森を守ろう!

エゾシカ肉を食べたことがありますか? 低カロリーで高タンパク、鉄分・ビタミンB2が豊富な、ととてもヘルシーなお肉です。エゾシカは北海道だけにすむシカで、ここ30年ほどで急増し、樹木の皮や希少植物、農作物が食べられる被害や交通事故が多発していることから、数を適正にするため捕獲を行っています。エゾシカ肉をおいしくいただくことは、北海道の豊かな自然環境を守ることに繋がります。2016年10月、安全・安心なエゾシカ肉を提供するため、より高度な衛生管理を行う食肉処理施設を北海道が認証する制度がスタートします。ロゴマークをお見かけの際は、安全・安心でおいしいエゾシカ肉をぜひご賞味ください。



お問い合わせ 環境生活部環境局エゾシカ対策課有効活用グループ
TEL 011-204-5988
<http://www.pref.hokkaido.lg.jp/ks/est/>

「農業を仕事にするための相談会」を開催します!

北海道農業担い手育成センターでは、農業を仕事にするための様々な情報が得られるイベント「北海道新規就農フェア」を開催します。農業を仕事にすることに興味のある学生・社会人・求職中の方・単身者・ご家族連れなど、ごなたでもご参加いただけます。(予約不要・入場無料・服装自由)北海道農業に興味関心のある方、お気軽にご参加ください!



札幌	東京	大阪
11月26日(土) 札幌コンベンションセンター	11月12日(土) 池袋サンシャインシティ	1月28日(土) 大阪マーチャンダイズ・マート

イベントの詳細については、「北海道で農業をはじめのサイト」をご覧ください。
<http://www.adhokkaido.or.jp/ninaite/index.html>

お問い合わせ 農政部農業経営課 TEL 011-204-5385
北海道農業担い手育成センター
(公財)北海道農業公社 TEL 0570-044-055

北海道幌加内高等学校

そば粉を使ったオリジナル料理が好評
基幹作物のそば粉を用いた料理を考案し、町民への普及に取り組んでいます。昨年は「そば中華春巻き」を開発し、第1回そば料理創作レシビコンテストで優秀賞を受賞。
<http://www.infosnow.ne.jp/horokanai/> | [Facebook](#) 幌加内高校
TEL 0165-35-2405

北海道檜山北高等学校

ひと味ちがう
ジュース&ジャムをどうぞ
実習で栽培した野菜・果物をジュースやジャムに加工し、パッケージもデザイン。学校祭のほか、地元のふれあい市場、函館の食彩フェアなどで販売しています。
<http://www.hiyamakita.hokkaido-c.ed.jp/> | TEL 0137-84-5333

北海道壮瞥高等学校

農高では最北のリンゴ栽培にチャレンジ
果樹の産地として、全国の農業高校の中で最北のリンゴ栽培に挑戦。収穫したリンゴは厳選したものを生食用に、その他をジュースなどに加工して販売しています。
<http://www.sobetsu.jp/soukou/> | TEL 0142-66-2456

北海道留寿都高等学校

地域のみなさんと一緒に「花いっぱい運動」
地域と協力して、村内の施設や国道沿いに花壇を造成する「花いっぱい運動」を行っています。また、ダイコンを利用した特産品づくりにも取り組んでいます。
<http://www.phoenix-c.or.jp/~rusutu1/> | TEL 0136-46-3376

北海道岩見沢農業高等学校

小学生への食育「岩農食農塾」を開講
高校生が先生になって、地域の小学生に食育活動を行う「岩農食農塾」を5年前から開講。高校生は教えることを通して、農業・食に関する知識を深化させています。
<http://www.gannou.ed.jp/> | TEL 0126-22-0130

キラリ!農業高校

北海道には、農業を学ぶ高校が31校あります。マルシェの開催、特産品の開発など、地域に密着したカリキュラムも特徴的です。コンファ秋号では、キラリと光る農業高校の活動をピックアップしてご紹介します。

北海道深川東高等学校

季節ごとの即売会が人気です
実習生産物の即売会を季節ごとに実施しています。春は花と野菜の苗、夏は野菜、秋は畑作物、冬は鉢花や加工品と通年で開催。毎回、多くの市民が訪れています。
<http://www.fukatoko.hokkaido-c.ed.jp/> | TEL 0164-23-3561

北海道別海高等学校

プロが集まる「別海マルシェ」に出店
農業学習の一環として、地域のイベントに参加。最近、食のイベントで人気の「別海マルシェ」にも出店し、新たな食のスタイルの創造を目指して活動しています。
<http://www.bekkai.hokkaido-c.ed.jp/> | TEL 0153-75-2053

北海道旭川農業高等学校

生徒が先生になって木育教室を実施中
木の町・旭川に住む子どもたちへ、木の大切さや魅力を伝えるため「木育教室」を実施。森林科学科の生徒が先生となり、植樹から木材加工まで教えています。
<http://www.kyokuno.hokkaido-c.ed.jp/> | TEL 0166-48-2887

北海道大野農業高等学校

地域のふれあい食堂でランチを提供
地域の社会福祉法人が運営する「ふれあい食堂いこい」の調理ボランティアに生活食育班が参加。地元の食材を使ったメニューを考え、調理し、提供しています。
<http://www.oononouyou.hokkaido-c.ed.jp/> | TEL 0138-77-8800